

まずは出発の地・佐賀駅から魅力を探していこう。佐賀駅直結の新しい商業施設「サガハツ」と、佐賀の観光・物産情報発信スポット「SAGAMADO」で、旅の第一歩をスタートしよう。もちろん、旅のゴールに立ち寄る場所としても最適だ。

まずは佐賀駅で
魅力発見！

特集 2

佐賀駅 から、 でかけよう。

佐賀市、なかでも佐賀駅周辺エリアが今、話題を呼んでいる。昨年整備された駅前交流広場は大屋根やベンチ、植栽を設置して人々が集える広々としたスペースを確保。イベント時にキッチンカーも出店する。そして今年には佐賀駅高架下西側エリアに新たな商業施設「サガハツ」がオープンした。佐賀駅の大幅なリニューアルの背景には、駅から徒歩約15分の距離にある運動公園エリア「SAGAサンライズパーク」の完成も影響しているだろう。パーク内には陸上競技場、水泳場などの施設が次々と整備され、今年5月には最大約8,400人を収容できるメイン施設「SAGAアリーナ」も開業。プロスポーツの試合やワールドクラスのアーティストによるコンサートツアーもすでに開催されている。そして来年には、これまで国体と呼ばれてきた「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」が開催され、全国から大勢の人たちが佐賀を訪れると予想されている。今、佐賀市では始まりと進化のムードが高まっている。

では実際に佐賀駅に到着したら、真っ直ぐにサンライズパークへ向かうべきか？…いやいや、それはもったいない。佐賀市の駅周辺エリアには、短時間でも楽しめる立ち寄りスポットが数えきれないほどあるのだ。「コンサート開始までの間に話題のスイーツを食べに行ってみよう」「せっかくだったら佐賀のお酒や郷土料理を味わって夜まで満喫したい」。さあ、佐賀駅を起点に、魅力を探しに出かけてみよう。



スイーツもちよひ飲みも！
佐賀の最新スポット
サガハツ

バスターミナルが隣接しタクシー乗り場もある、まさに旅の起点となる佐賀駅に、今年4月に佐賀駅西側高架下の商業施設がオープンした。「サガハツ」という名前には、佐賀の魅力を発信する「佐賀発」、これまでになかった魅力を作り出す「佐賀初」、交通の中心で「心（HEARTS）」が行き交う場所という意味が込められている。佐賀市の人気寿司店「嬉乃すし」が手がけるテイクアウト専門店や、国内外で人気の佐賀県産酒を気軽に楽しめる「SAGABAR」など、話題の店が揃う。テイクアウトしたスイーツやお弁当は駅前広場のベンチで味わうこともできる。



九州の良いモノを自動販売機で販売するショップや、佐賀県産小麦を使ったクロワッサン専門店など、旅の思い出になりそうな店が多い。ちよひ飲みしながら地元の人から情報収集するのもGOOD！

■佐賀市駅前中央1・11・20 JR 佐賀駅直結
☎0952・24・5335 (JR九州ビルマネジメント株式会社)

窓を開いて、旅に出よう
SAGAMADO

佐賀駅目の前にある複合施設の1階、明るく開放的な雰囲気のスぺーすには佐賀市や佐賀県内各地の観光パンフレットやガイドブックが設置され、持ち帰ったりその場で自由に閲覧することができ。観光コンシェルジュが常駐しており交通案内はもちろん旅のプランニングを手伝ってくれるのも嬉しい。お得な観光チケットやツアーの企画販売も行っている。しっかり計画を練ってから旅に出発しよう。そして県内の食品・工芸品を集めたセレクトショップもあるので、お土産を買いたい時にも活用したい。



フリーWi-Fiやスマートフォンの充電スポットも自由に利用できる旅のオアシス。スーツケースなどの手荷物を預かってくれるサービス(有料)も

■佐賀市駅前中央1・4・17 コムボックス佐賀駅前1F
(観光案内) ☎0952・37・3654 営 9:00 ~ 18:00
(ショップ) ☎0952・37・8928 営 10:00 ~ 20:00



佐賀駅から
徒歩 10分

奥深い「真のナポリピッツァ」

Pizzeria da Gino **D**

県内で唯一のイタリア「ヴェラ ピッツァ(真のナポリピッツァ)協会」認定店。その誇りはイタリアから取り寄せた石窯にも宿っている。薪を窯内部で焚き熱をドーム内に対流させて、高温を持続させる。生地はサクリと軽い食感に焼き上がり、小麦の香りが立ち上がる。南イタリアの食文化を佐賀から発信するという気概を感じる人気店だ。



「マルゲリータ」1,760円。佐賀県産トマトのフルーティーな甘みと酸味が特徴。冷凍ピッツァも販売



真っ赤なシンボルカラーが目印です。ナポリの伝統的な味わいと佐賀の素材の瑞々しさを感じるピッツァをどうぞ。

代表 沖津 健さん



■佐賀市神野東3・7・13 ☎0952・30・8955
営 11:00 ~ 15:00(OS14:00)、18:00 ~ 22:00
(OS 21:00) 休 月・木曜

佐賀駅から
徒歩 15分

フルーツが
一番おいしい時期を知る

Fruits Garden 新SUN **F**

SAGAアリーナのそばに本店を構える。長く青果卸業を営んできたプロフェッショナルが、フルーツが一番おいしいタイミングでパフェやタルトなどのスイーツとして提供。常に行列ができる人気ぶりだ。時季によっては柑橘、イチゴなどひとつの果物でも、全国から選りすぐった多彩な種類を食べ比べられるスペシャルパフェが登場すること。



パフェの素材や価格は時季により変動。6~7種のイチゴを使った「イチゴ畑」3,300円、「フルーツパフェ」1,500円(写真左)

■佐賀市若宮1・3・21
☎0952・36・6650
営 11:00 ~ 19:00
(OS 18:00)
※1F フルーツショップ
は 9:30 ~ 19:00
休 水曜

佐賀駅から
徒歩 3分

季節限定スイーツにも注目

ROUGH CAFE & DINING BAR **E**

開店は朝8時から。いつでも立ち寄れる気軽さが嬉しい。「食のセレクトショップ」をコンセプトとし、自家製スイーツやプレートメニューだけでなく、県内外の人気店とコラボレーションした限定スイーツも味わえる。サンドシリーズに6月からはピタパンが登場。小麦の香りが芳ばしいピタパンに瑞々しい野菜や卵をたっぷり挟んでボリューム満点。



「ピタパンモーニングセット(1ドリンク付)」1,200円「ピタパンランチセット(スープ、プリン付)」1,390円、「オレンジティラミスレアチーズ」770円

■佐賀市駅前中央2・6・7
☎050・5488・2666
営 8:00 ~ 23:00(CL)
※金、土曜、祝前日は24:00(CL)
休 無休



カリカリもっちり至福のカヌレ

ユニアンド **Uand A**

佐賀駅バスセンターの北側、カヌレやマフィンなどを販売する菓子店。同じく佐賀市内にある行列必至の人気店の2店舗目だ。小箱のような小さな店にぎゅっと詰め込まれた丁寧でやさしい味わいの焼き菓子。トング片手にどれにしようか迷う時間も楽しい。購入したお菓子は、隣のカフェ「ROLE PLAYING COFFEE」に持ち込みコーヒーと一緒に味わうこともできる。



佐賀のカヌレブームを牽引した人気店。「水ヶ江カヌレ」(300円)はもっちりしっとりの食感とラムの風味のバランスが絶妙

■佐賀市駅前中央1・13・8 岡本アパート103
営 11:30 ~ 17:00 休 火・水曜
☎ @uand_ekimae

1~2時間で寄り道/
スイーツ&ランチ

電車を待つ空き時間や、SAGAアリーナまでの行き帰りに、短時間だけでも至福の時間を。

佐賀駅から
徒歩 3分

みんな大好きあのアイスが進化!

GRILL TAKEISHITA **B**

佐賀駅そばのホテル内にあるレストランで販売されているのは、九州人にはお馴染みのあのアイス『ブラックモンブラン』のソフトクリームバージョン。なめらかなソフトクリームにバリバリのチョコがたっぷり。そしてサクサクのクラッシュの食感が楽しい。通常のアイスパーとはちょっと違う贅沢な味わいが新鮮だ。

「ブラックモンブランソフトクリーム」450円。店内でもテイクアウトでも味わうことができる



■佐賀市駅前中央1・164 アパホテル佐賀駅南口1F
☎0952・25・3811
営 10:00 ~ 20:00(ソフトクリーム販売時間)
休 不定休

焼きたてパンの香りに誘われて

佐賀駅から
徒歩 12分

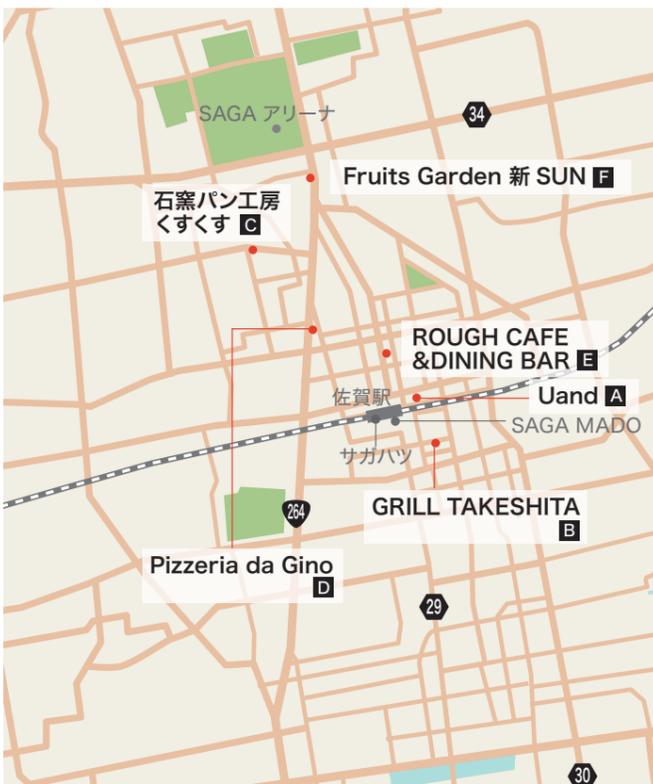
石窯パン工房 くすくす **C**

県内屈指の人気パン店を手がけるのは1954年創業の「江頭製パン」。店舗の入り口にも「1954」を掲げている。昔から佐賀の人たちに愛され続けてきたパン作りの技術を継承しながら、総菜パンやおやつパンなど多種多様なパンを次々に焼き上げる。テラス席があるので焼きたてをその場ですぐに堪能しよう。



オープン朝7時。旅のエネルギーをチャージする朝ご飯にぴったり

■佐賀県佐賀市若宮1・10・45
☎0952・30・2847
営 7:00 ~ 19:00
休 木曜



徒歩
1分

13:30

D 八頭司伝吉本舗 唐人町店

佐賀駅から
徒歩 8分

羊羹づくりを学び1920（大正10）年に店を構えた初代・八頭司伝吉の製法を守り継ぎ、表面に砂糖の結晶ができる『昔ようかん』を作り続けている。日が経つにつれてサクサクの食感が生まれ、しっとりとした芯部分と食感のコントラストが楽しい。小豆本来のやさしい甘みを感じる味わいが特徴。



『昔ひとくち』10個入
594円、10個入×2セット
(箱入)1,188円

■佐賀市唐人1・5・38
☎0952・41・8102
営 10:00～18:00
休 元日のみ

徒歩
3分

13:50

E 村岡屋 本店

佐賀駅から
徒歩 5分

E



村岡屋の看板商品といえば、佐賀の伝統工芸品である織物・佐賀錦をイメージした銘菓『さが錦』。蒸し菓子の浮島の中に小豆や栗をたっぷり練りこみ、バター風味を感じるバームクーヘンで挟んだお菓子だ。季節によって抹茶やみかん、キャラメルなどの新しいフレーバーも登場し、幅広い世代に愛されている。



『さが錦(個装)』5個入 700円、『お抹茶さが錦(個装)』5個入 700円
『さが錦』1棹 756円
■佐賀市駅南本町3・18 ☎0952・22・4141
営 9:30～18:30 休 無休

徒歩
5分

14:30

佐賀駅に到着!

※掲載した5店舗の商品は佐賀駅内の土産物売場でも販売されています。
※記載している所要時間は目安の時間です。



お得な佐賀旅インフォメーション

「ぶらり佐賀!銘菓めぐりの旅」

佐賀市内にある老舗菓子舗4店をめぐりながら銘菓を味わうことができるチケットを販売中。チケットを購入(500円)したら、掲載店(村岡屋・八頭司伝吉本舗・村岡総本舗・北島)へ。チケットを見せると各店自慢のお菓子をもらうことができる。チケット購入者限定スタンプラリーも開催中。



《販売場所》SAGAMADO、佐賀市観光交流プラザ(エスプラッツ2F)
《販売価格》500円

江戸時代、長崎街道沿い屈指の規模を誇る城下町として栄えた佐賀。長崎を通じ海外から砂糖文化が伝来した。その様子を伝える老舗和菓子店を、半日で巡ってみよう。

ディープに遊ぼう!
半日タイムスケジュール
～シュガーロード編～

スタート!

11:00

佐賀駅から
タクシー 8分

佐賀駅から
徒歩 45分

A 御菓子司 鶴屋

創業1639(寛永16)年。佐賀藩の御用菓子司として藩主・鍋島氏に菓子を献上していた老舗菓子舗。天和年間には二代目店主が長崎・出島でオランダ人から南蛮菓子の製法を学び、佐賀銘菓『丸ぼうろ』を生み出したといわれており、シュガーロードから伝わった菓子文化を現代に伝え続けている。



『元祖丸房露』10個入 864円

■佐賀市西魚町1 ☎0952・22・2314
営 9:00～17:00 休 元日のみ

徒歩
20分

12:00

B 丸芳露本舗 北島

佐賀駅から
徒歩 18分

B

佐賀県庁から佐賀駅へと続くメインストリートの中央部にある白山アーケードの入口に位置し、黄色い建物が目印。手仕事で作られる『丸ぼうろ』や、やわらかい生地であんずジャムを挟んだ『花ぼうろ』などが看板商品。花ぼうろは季節限定のフレーバーも登場し、地元客も多く足を運ぶ。



『丸ぼうろ』10個入 864円、『花ぼうろ』5個入(箱入)864円(写真)

■佐賀市白山2・2・5 ☎0952・26・4161 営 9:30～18:00 休 無休

徒歩
10分

13:00

C 村岡総本舗 唐人町店

佐賀駅から
徒歩 9分

C



『小型小羊羹』130円、『カシューナッツ羊羹』1,080円、『シベリア』1個 486円

佐賀の銘菓といえば佐賀県小城市の名物・小羊羹も外せない。「村岡総本舗」では伝統的な羊羹から若い世代のファンも多い『カシューナッツ羊羹』、食べきりサイズの『小型小羊羹』、カステラで羊羹を挟んだ『シベリア』まで、バリエーションに富んだ羊羹を販売している。

■佐賀市唐人1・5・45 ☎0952・23・5017
営 9:00～18:00
休 無休

ちょっと休憩

しるこー平

「丸芳露本舗 北島」より徒歩1分の場所にある創業90年以上を数える老舗甘味処。名物は、ふわふわ食感の餅ぎびにこし餡をかけた『あわせん』。夏は抹茶を点てて注ぐ『氷宇治しるこ』もおすすめ。



『あわせん』800円

■佐賀市白山1・2・20
☎0952・25・0535
営 11:30～17:00 (OS16:30)
休 不定休

徒歩
1分

14:00

旧福田家

佐賀駅から
徒歩 30分 D

江戸末期に佐賀で生まれた伝統工芸品の佐賀錦。金・銀・漆を貼った和紙を裁断し経糸とし、絹糸を使った緯糸で織り上げていく織物で、日本手芸の極地と称されている。城下町にある旧福田家(佐賀市歴史民俗館)では、佐賀錦の実演見学や手織り体験を行っており、その絢爛豪華な世界を体感することができる。



緻密な伝統技法を知る「佐賀錦手織り体験(1~2段階程度)」の後、佐賀錦を使ったキーホルダーやアクセサリ作り(1,000円〜)。所要時間は30分程度



■佐賀市松原4・3・15
☎0952・22・4477(佐賀錦振興協議会) 営 10:00~15:00
休 月曜、祝日の翌日、年末年始、佐賀城下ひなまつり期間中

少人数(1~4名)なら予約なしでも体験できますよ。根気を要する手作業で生み出される美しい佐賀錦の世界をご覧ください。

佐賀錦振興協議会
(左)市川 昭子さん
(右)根木田 佳子さん



徒歩
7分

15:00

佐賀バルーンミュージアム

佐賀駅から
徒歩 25分 E

佐賀市の秋の風物詩といえば、佐賀国際バルーンフェスタ。日本初となるバルーンをテーマにした常設展示施設「佐賀バルーンミュージアム」では実物大のバルーンの一部を使ったディスプレイがお出迎え。音と光、映像でバルーンフェスタの様子を体感できる展示やフライトシミュレーターなど、子どもから大人まで楽しめる。

■佐賀市松原2・2・27 ☎0952・40・7114
営 10:00~17:00(入館は16:30まで)
料 大人500円、小中高生200円
休 月曜、年末年始



本物のバルーンのカゴやバーナーを使ったバルーンフライトシミュレーターで操縦の疑似体験をしよう

徒歩
20分

16:20

佐賀駅に到着!

※体験や見学の詳しい所要時間は各施設にご確認ください。
※記載している所要時間は目安の時間です。



お得な佐賀旅インフォメーション

「Sagabai 1Day Passport サガバイ ワンデイ パスポート」

佐賀市営バス指定区間内の1日乗り放題乗車券と、佐賀バルーンミュージアム、大隈重信記念館の入場券がセットになったお得な周遊パスポートを販売中。フリー区間内には今回の特集で紹介している施設・店舗に近いバス停も。チケット購入時に区間図をチェック!



《販売場所》SAGAMADO、佐賀市観光交流プラザ(エスプラッツ2F)
《販売価格》900円

幕末期に薩長土肥の一角として活躍した佐賀藩の歴史や、城下町に残る伝統工芸、現在の佐賀をイメージする時に欠かせないバルーンなど、さまざまな魅力を体感してみよう。

ディープに遊ぼう!
半日タイムスケジュール
~佐賀を体感編~

スタート!

10:00

副島硝子工業

佐賀駅から
タクシー 8分 佐賀駅から
徒歩 45分 A



5食の色ガラスを用いた艶やかな「虹色シリーズ」のガラスのほか、伝統的な細首の「ちろり」などを工房直売所で購入できる



■佐賀市道祖元町106
☎0952・24・4211
営 9:00~18:00
休 日祝、第2・4土曜

幕末期、江戸幕府をもしのぐ科学技術力を有し存在感を高めた佐賀藩。その要所となった理化学研究所・精煉方では実験道具作りなどのためにガラス窯が開設されていた。その流れを汲む副島硝子工業。現在でも当時と同じように成形に型を用いない伝統的な「宙吹き」という技法を守り続け、「肥前びどろ」を作り続けている。工房ではガラス食器の直売のほか、製造風景を見学することも可能。

※製造時期により見学不可、販売のみの場合もあり。

佐賀に唯一残る肥前びどろの製造工房です。肥前佐賀藩の歴史が詳しくわかる「佐賀城本丸歴史館」まで当社から歩いて20分くらいです。ぜひこちらも訪れてみてください。

営業部長 副島 隆男さん



徒歩
20分

11:00

佐賀県立 佐賀城本丸歴史館

佐賀駅から
徒歩 35分 B

幕末期における佐賀藩の活躍を先導した十代藩主・鍋島直正の像が出迎える。全国に先駆けて成功していた反射炉の築造や蒸気船の建造など、その科学技術がどのように構築されていったかを、実物・複製による展示や映像展示などから体感し、学ぼう。

■佐賀市城内2・18・1 ☎0952・41・7550
営 9:30~18:00 休 年末年始、臨時休館日あり



資料展示だけでなくバーチャル映像やボランティアガイドによる解説などで、歴史の臨場感を体感できる

徒歩
15分

13:00

肥前通仙亭

佐賀駅から
徒歩 30分 C



「煎茶体験」600円。施設内に展示されたパネル展示、売茶翁の書などの見学のみは無料

江戸時代、それまで貴族などしか飲むことのできなかった煎茶を庶民に広めたのが、佐賀出身の禅僧・売茶翁(ばいさおう)。その足跡を展示している「肥前通仙亭」では、オリジナルの嬉野茶や有田焼の器を使った煎茶体験を行っている。一煎目、二煎目で変化する茶の味わいを感じてみよう。

■佐賀市松原4・6・18
☎0952・65・2152
営 9:00~17:00(煎茶体験は10:00~16:00)
休 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始



佐賀駅から
タクシー 6分

佐賀の器で堪能する郷土料理 旅館あけぼの C

洋画家・青木繁が晩年に逗留していた宿として知られる「旅館あけぼの」。市内中心部にありながらも雑木林に囲まれた落ち着いた佇まいで旅人を出迎えてくれる。予約をすれば宿泊客だけでなく観光客も有明海料理を楽しむことができる。「海のエイリアン」と呼ばれているワラスボや、ムツゴロウの煮付けなどは、他の地域では味わえない珍しい美味だ。舌平目の一種であるクチゾコは、べたんとした身から受ける印象とは異なる繊細な味わいが特徴。同館では佐賀の窯元がつくる器で料理を提供している。佐賀城跡や佐賀バルーンミュージアムにも近いので、佐賀旅の宿泊地としてもおすすめです。



「有明海料理」7,000円～(税サ別)。6月中にはエツの刺身や南蛮づつも提供

■佐賀市中の小路3・10 ☎0952・24・8181

佐賀駅から
徒歩 0分

日本酒大国・佐賀の実力を ご覧あれ

SAGA BAR A

近年注目度が高まり世界にもファンを増やしている佐賀の日本酒。「SAGA BAR」では県内のほとんどの蔵の酒を揃えるだけでなく、佐賀県産の食材を使った料理を、有田焼や唐津焼など佐賀県の器で提供。さらに木のぬくもりを感じるテーブルや椅子も佐賀市内の諸富家具で揃えるなど、徹底的に「佐賀を味わう」ことにこだわっている。



県内の酒蔵の日本酒や焼酎、リキュールなどが揃う。佐賀県産の食材を使った小鉢や料理が堪能できる「さがん肴の玉手箱」(1,880円～)がおすすめ

佐賀の夜に乾杯!! 佐賀グルメ&日本酒

せっかくなら夜までしっかり佐賀を楽しもう。佐賀市内には、独自の生態系を持つ有明海の幸や佐賀牛など美味しい料理、佐賀の酒を提供する飲食店がたくさん。



■佐賀市駅前中央1・11・20 ☎0952・97・8765 営 11:00～22:30(CL) ※土日祝・祝前日は(23:00 CL) 休 不定休

佐賀駅から
徒歩 1分

旅の思い出は佐賀の酒が語る 佐賀ん酒応援団 しめなわ D

楽しかった佐賀の旅もついにフィナーレ…。とその前に、忘れずに立ち寄っておきたいのが佐賀駅西側高架下に店を構える佐賀酒専門店「しめなわ」だ。「佐賀ん酒応援団」と掲げる通り、店の前には県内の酒蔵を記した佐賀県地図が掲げられている。広々とした明るい雰囲気店内には、100種以上の佐賀の日本酒や焼酎、リキュールなどが所狭しと並べられており、県外ではあまり目にする機会のない希少な限定酒などに出合えることも。あまりお酒に詳しくない人もご安心を。飲む人の好みや合わせたい料理などを伝えると、佐賀酒を愛する知識豊富なスタッフが丁寧にアドバイスしてくれる。



■佐賀市神野東1・8・7 ☎0952・60・2362 営 8:00～20:00 ※日祝は9:00～18:00 休 不定休



一人客でも気軽に入りやすいオープンな雰囲気。購入した商品を宅急便で送ってあげば、身軽に佐賀旅を続けることができる。朝8時からオープンしているので佐賀に泊まった翌日も立ち寄りやすい

佐賀駅から
徒歩 3分

最高級の佐賀牛をローストビーフで くらおか亭 B

佐賀の美味しいものといえば、やはり佐賀牛は外せない。焼肉?ステーキ?いや、今宵はローストビーフという選択を。県外からも多くのファンが訪れる「くらおか亭」。店主の倉岡正夫さんは、外国航路の船上コックとして働き、世界各地を航海した経験を持つ。倉岡さんの作るローストビーフは常連客の口コミで評判が広まり、いまや同店の看板料理。A5クラスの佐賀牛のロース肉のみを使用し、焼き目をつけた後に野菜で肉を包みオープンで焼き上げるなど、手間をたっぷりかけて作り上げる。断面は美しく鮮やかなピンク色。脂と旨味が溶け出さないよう冷やし、柚子胡椒の利いた特製酢味噌だれで味わうのが倉岡流だ。このローストビーフが食べたくて再び佐賀を訪れるビジネス客も多いという。



ローストビーフを味わえるコース料理は4,950円～。ふぐ料理やしゃぶしゃぶなど多彩なコース料理が揃う

■佐賀市駅前中央1・2・3 ☎0952・22・2087 営 17:30～22:30 休 日祝

